

HABARI

Form6 卒業式

Form6 (大学1年生に相当)の卒業式がありました。Form6の生徒は全寮制で、我が家の近くの寮で生活していたため、よく声をかけてくれました。断水時には水を運ぶのを手伝ってくれたり、スワヒリ語のレッスンをしてくれることもありました。式の後には卒業生との2ショット写真の対応に追われました。そんな生徒たちが巣立って行ったことに、喜び半分、寂しさ半分です。



Skype 交流会 with 山大附属小学校

山口大学附属小学校と Skype 交流会を行いました。今回は私が顧問を務める野球部が交流会に参加しました。「じゃんけん」や「にらめっこ」といったタンザニアでは馴染みのない遊びを通じて、日本の子どもたちの文化や様子を生徒たちは感じることができました。第2回の交流会も企画されており、次回はこちらの様子を日本の子どもたちへ発信できればと考えています。



今回は「タンザニアと日本」をテーマに生活の中で感じたタンザニアと日本の違いをご紹介します。現地で生活しなければわからないような違いを実際に体験したエピソードを踏まえながら、ご紹介できればと思います。

ご存知の通り、タンザニアと日本の生活には大きな違いがあります。「じゃあどこがどう違うの?」と聞かれるとタンザニアについてわからないことばかりで、上手く答えることができないのではと思います。その違いの一部をここでご紹介していきたいです。

荷物は頭

タンザニア人は大きい荷物を持って移動するときは頭に荷物に乗っけて歩きます。テレビなんかで見たことあるかもしれませんね。理由は「楽だから」だそうです。重い水なんかも頭にさせるので首を痛める人が多いです。ダイレクトに乗せにくいものは布(カンガ)を台座にしてその上に乗せます。そこまでして手で荷物を持ちたくないようです。



鶏肉は高級品

鶏肉はタンザニアでは高級な食品の部類に入ります。肉の値段としてはアヒル→羊→ヤギ→鶏→豚→牛の順番になります。日本では鶏肉は牛よりも安いですよね（もちろん物によりますが）。牛肉は肉屋で重さを言えば切り売りしてくれますが、鶏肉は鶏をそのまま一羽購入して、自分で捌きます。写真のように逆さに吊るして首を落とし、血を抜いてから沸騰した湯につけて羽をやわらかくした後にむしり取ります。自分はどうもこういったことが苦手なようで、先輩隊員に全部やってもらいました（汗）。タンザニア人の中でも「自分でやるのはちょっと…」という人もいますみたいですね。



草刈でハラハラ

日本で草刈と言えば、しゃがんで、草をむしって、って感じですよ？タンザニアは「スラッシャー」というものを使います。写真のように振りかぶって、振り下ろすことで草を刈っていくのです。スラッシャーの先端は少しだけ鋭利になっているので、かなり危険です。写真の草刈のときはあまりにも手入れしていない庭を生徒がボランティアで草刈を手伝ってくれたときの写真なのですが、見てるだけでハラハラしました。自分もやってみると面白いぐらいに草が刈られていくので、正直はまりそうです。（笑）



MTANZANIA

友達のタンザニア人をご紹介します！

友達... というか生徒なのですが、Form6の生徒です。名前はルーシー。学校に行くときは女子寮の前を通るのですが、いつも声をかけてくれます。水を運んでいるときは「手伝おうか？」を声をかけてくれるし、夕方には「今日も豚肉を食べに行くの？」と声をかけてきます。（近所に豚肉料理をよく食べに行くので（笑））そんな彼女も卒業。生徒というよりも友達のような付き合いだったので、寂しい気持ちも倍増です。



活動も残り半年を切りました。ラストスパートです！第2回タンザニア野球全国大会、サイエンスフェスティバル... まだまだやりたいことはいっぱい。全部やりきって帰国したいと思います！

帰国までにあと2回は活動レポートをお届けできればと思います。

ASANTENI SANA!